

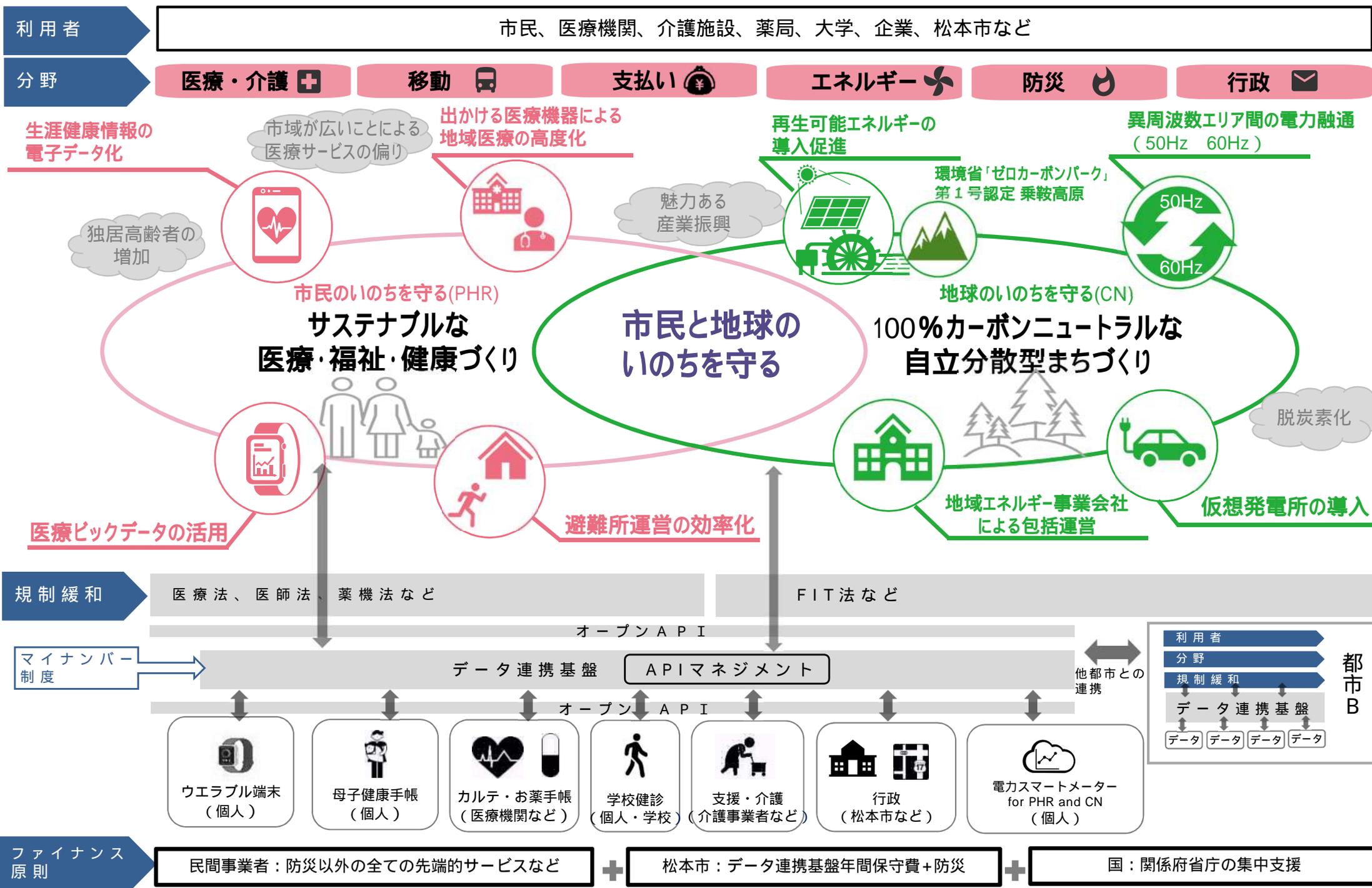
松本市のスーパーシティ構想

世界に先駆けるスーパーシティ松本

～ 市民と地球のいのちを守る～



「世界に先駆けるスーパーシティ松本～市民と地球のいのちを守る～」 概要



先端的サービス 出かける医療機器による地域医療の高度化

松本市の一般診療所所在地

日本医師会データから作成

独居高齢者の増加

郊外・山間部
通院課題

診療所の偏在

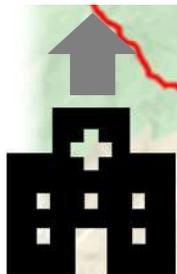
松本市の特徴

10万人当たりの医師数が
全国平均の1.5倍
「松本モデル」として注目さ
れている病院間の連携

【第1段階】
車両を用いない
オンライン診療・服薬指導



【第3段階】
移動する診療所



市立診療所

信州大学附属病院

市立診療所

相澤病院

松本市立病院

長野県

【第2段階】
車両を用いた
オンライン診療・服薬指導



松本市の人口分布推定

データ引用先：ヤフー(株)DS.INSIGHT

選択と集中の“松本モデル”（松本医療圏：松本市、塩尻市、安曇野市など3市5村）

新型コロナ受入れ病院

軽・中等症



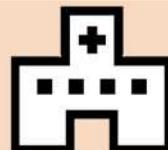
松本市立病院

透析・中等症



相澤病院
（民間）

中等症



まつもと医療センター
（国立）

子ども・妊婦



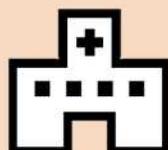
県立こども病院

重症



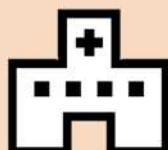
信州大学附属病院
（国立）

中等症



安曇野赤十字病院
（民間）

軽症



松本協立病院
（民間）

“あえて”コロナ以外対応



藤森病院
（民間）



丸の内病院
（民間）

- ・新型コロナウイルス対策で注目を浴びている「松本モデル」。これは一朝一夕にできたものではありません。
- ・松本市を含む3市5村で形成する松本医療圏には、国立、県立、市立、民間といった設立母体の異なる病院があります。これらの病院が15年前から救急医療や災害時の役割分担を議論してきました。病院が一堂に会し、縦割りの壁を越えて連携・役割分担を調整してきたので、コロナの際にそれが機能したと言えます。